Club Weekly Bulletin　　創立1997年(平成9年)3月27日

堺フェニックスロータリークラブ
SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

地区ガバナー	久保 治雄
会長	中井 昭宏
幹事	松田 香純
会報委員長	中井 崇嗣

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号
TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991

例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場: ホテル第一堺

http://www.sakaiphoenix.com

第811回例会　　通巻771号

平成26年5月22日　　2013-2014年度Ｎｏ．39

第８１１回　２０１３－２０１４年度　第４５回目		
５月２２日	１８時３０分	ホテル第一堺
開会点鐘	会　長　中井　昭宏	
ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ斉唱	我らの生業	
お客様紹介	親睦委員長	田辺　弘樹
	堺おおいずみRC	森山　浩行様
会長の時間	会　長	中井　昭宏
幹事報告	幹　事	松田　香純
委員会報告		
	クラブ協議会	
ニコニコ報告	副SAA	濱田　由美
出席報告	副SAA	仲峯　豊
閉会点鐘	会　長　中井　昭宏	
5/29　次年度クラブ協議会		
6/5　卓話　秋山幸子様		
6/12　中井　昭宏会長　国際大会報告		

2013-14年度 RI会長　ロン・バートン(Ron D. Burton)

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

2014年5月15日（木）例会の記録（第810回）

ENGAGE ROTARY　CHANGE LIVES

ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を

会長の時間

中井昭宏　会長

今週は皆様に嬉しいお知らせがあります。今年度皆様のロータリーを実践されたことに対して、RI会長ロン D バートン氏より、RI会長賞を頂きました。特に今年度は会長賞の対象より、ロータリーの奉仕に沿ってより多くの活動をしたクラブに送られるRI特別会長賞も頂きました。これは皆さんが、ロータリーの夢を形あるものにするために、多くの活動をされた成果であり、評価であります。本当にありがとうございました。2640地区では当クラブだけだそうです。

また当クラブが提唱しております。初芝立命館高校インターアクトクラブも同時にインターアクトクラブ会長賞を頂けることができました。また世界インターアクト週間表彰のダブル受賞は同じく2640地区で初芝立命館高校インターアクトクラブのみが受賞いたしました。

会員の皆様、今年度、本当にクラブのために、地区の青少年のために、多くの奉仕活動にご協力頂き誠に感謝申し上げます。

幹事　報告

松田香純　幹事

5月のロータリーレートは102円です

5月22日今年度アッセンブリーがあります。2013-2014年度活動報告をまとめていただきまでに事務局宛に、提出していただきますようお願いします。

卓話

「母なる大地」
こんばんは、改めまして仲峯　豊と申します。

昨年7月より堺フェニックスRCに入会させていただき早10ヶ月経ちました。まだまだ未熟な私ですが、諸先輩方皆様の前でこのように卓話させていただく事を感謝申し上げます。

僭越ですが、まず私がロータリアンとなって感じた事を述べさせていただきたいと思います。

私は2011年1月米田先生がガバナーの時、堺フラワーRCに初めて入会させていただきました。

以前、私がRCに対するイメージは、社長、医者、専門分野の先生等お金があり時間がある立派なえらい人達が、社会奉仕する集まりだと思っておりました。しかし、今ではRCに対するイメージが完全に変わって来たのです。

最初の堺フラワーRCで一生懸命にクラブ奉仕に努めさせていただきました。最初に教えて頂いたのは、何よりもクラブ奉仕が一番大事だと聞かされていました。ロータリアンの基本はクラブ奉仕であり、最初に教えて頂いた言葉が『入りて学び出でて奉仕せよ』という言葉でした。週１回のまして１時間の出会いですが、その一瞬の例会が人生をも変える力が有るんだと確信しました。そして絶対遅刻しない絶対欠席しない連絡報告はきちんとすると自分自身決め週１回の例会に望んでおります。

そして私自身１週間のスケジュールを例会中心に置き換えました。するといろんな出来事が私の身の回りにおきてきました。何よりも驚いたことはロータリアンになって５ヶ月ぐらいしたときです。

地区青少年ライラ委員長にとのお話を頂きました。まず私自信ロータリーのロの字も知らない私がなんでと不思議でなりませんでした。しかも地区の委員長です。2640地区も分からない、当初ガバナーという意味さえわかりませんでした、ましてライラって何？そんな私に務まるのかどうか、自問自答する日々でしたが、最終的に意を決してライラ委員長をお受けしました。そこから猛勉強の日々です。赤本のロータリー情報マニュアル・ロータリー手続き要覧をそしてRIのホームページを読みあさり、まずはロータリーの設立から米山梅吉とはどの様な人かそしてライラとは何か、当然地区青少年ライラ委員長としてライラを知らなければ話になりません。そしてとうとう地区・クラブの皆様のご尽力で３年もライラ委員長をさせていただきました。最初の羽衣青少年センターでの１泊２日です。終わったときは何だがとめどなく流れてきた涙を覚えています。約２００名のロータリアン・青少年達を無事故で終える事が出来、自身よく出来たなあと後で感動した次第です。２年目青少年海洋センターでの２泊３日です。その時は当日までの準備等で疲れていたのでしょう、当日から頭痛と３９度近い熱が出て気力だけで運営した苦い思い出もありました。中井先生始め北中先生にもいろんな薬を持て来ていただきました。その時ロキソニンをいやというほど飲みました。しかし晴天にも恵まれ無事故で大成功させて頂きました。参加された皆様に本当に喜んでいただきました。これもひとえに地区・クラブの皆様の力の賜物だと思います。特にこの3年間のライラ委員長として務めあげる事が出来たのも、今わたしが所属している堺フェニックスRCの皆様の応援があったればこその賜物だと思います。ここで改めて感謝の意を申し述べたいと思います。本当に本当ににありがとうございました。

そして今振り帰ってみれば、地区の方がたや他地区のロータリアン、国際色豊かなロータリアンの名刺で山になっていました。これが人と人との出会いだとおもいますここで重要な事は私が本年までロータリアンとなって感じた事は、人との出会いから全ては出発するんだと感じました。

1905年にポールPハリスがシカゴで最初に設立され、1世紀以上も歴史があり、今や200カ国以上の国や地域にも拡大されている、これはポールPハリスという１人の人の出会いから始まり今や120万人以上の人達が世界中で人の為に活躍されている。まさに歴史を川の譬えで言うのならば、山から湧き出る一筋の水がいろんな支流を包み込んでだんだん大きな河となりやがて海に注いでいく。源流が遠くにあればあるほど河巾は大きくなり大河へと成長し、そして大海原へと合流していく。私たちはまたここにおられる皆様は、その中の一滴の水かもしれませんが、大きな河を作っている要因になっているのではないかと思います。

そして私自信から人との出会いを大切に、ロータリアンとして誇りをもって頑張って行きたいと思います。

そして、私の57年のちっぽけな歴史は、自分自身これからが本当に人生を開き、新しい歴史を作っていかなければならないと思いました。ロータリーアンになってさらに、いろんな人との出会いを大切に、これからも、もっともっと人の輪を広げていきたいと思います。

にこにこ報告

会長　中井　昭宏　会員

岡田様、ようこそ堺フェニックスRCへ。仲峯様卓話よろしくお願いします。さあ、シドニーの準備はできましたか。

幹事　松田　香純　会員

岡田様ようこそ堺フェニックスロータリークラブへ。
今後もメーキャップに来て下さいネ。
仲峯様、卓話楽しみにしております。

上好　まゆみ会員

仲峯豊さんの卓話楽しみにしています。ありがとうございます。

SAA　松本　美和子　会員

先日の米山学友親睦会お疲れ様でした。本日仲峯さんの卓話楽しみです。

田中　範子　会員

休みが続いてしまいました。

仲峯　豊　会員

こんばんは、本日初めての卓話です。がんばります。
よろしくお願いします。

出席報告

在籍者　３５名	出席者　２５名
出席計算会員３１名	欠席者　１０名
出席免除会員　４名 （小林・石田・山田・山本）	免除出席者　０　名
先々週修正出席率 ７８．１３％	出席率 ６７．７４％

欠席報告（5月15日）

犬伏　幸代	診療のため
猿田　慎男	仕事のため　Make-up済
内藤　絵梨奈	仕事のため
吉住　哲洋	仕事のため
濱田　由美	仕事のため　Make-up済
酒井　誠	療養のため
仁木　順子	仕事のため
片岡　富美子	仕事のため
河野　強	仕事のため
吉川　美幸	療養のため

Make-up報告

中野　一郎	4日	ガバナー補佐会議
猿田　慎男	9日	堺北RC
京谷　知明	15日	堺清陵RC
京谷　知明	19日	ロータリーの友委員会

堺フェニックス勉強会

堺フェニックスRC勉強会（５月１９日）
例会終了後、入会３年未満会員を主に対象として開催しました。１３名参加。

社会奉仕活動に対する方針
(Policy Toward Community Service Activities)

講師　米田眞理子

社会奉仕に関する1923年の声明

次の声明は1923年国際大会で採択され、以後の国際大会で改正されたものである。

ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。

この奉仕の理想の適用を実行することについては、多くのクラブが会員による奉仕にその機会を与えるものとして、さまざまな社会奉仕活動を進めてきている。以下に掲げる諸原則は、ロータリアンおよびロータリー・クラブの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すものとして適切であり、また管理に役立つものであることを認め、これを採用するものである。

1）ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

2）本来ロータリー・クラブは、事業および専門職務に携わる人の代表として、ロータリ ーの奉仕の哲学を受け入れ、次の四つのことを実行することを目指している人々の集まりである。 まず第1に、奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと。第2に、自分たちのあいだにおいても、また地域社会に対しても、その実際例を団体で示すこと。第3に、各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業および日常生活において実践に移すこと。そして第4に、個人として、また団体としても大いにこの教えを説き、その実例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外のすべての人々が、理論的にも実践的にも、これを受け入れるように励ますことである。

3）RIは次の目的のために存在する団体である。
a）ロータリーの奉仕の理想の擁護、育成および全世界への普及。
b）ロータリー・クラブの設立、激励、援助および運営の管理。
c）一種の情報交換所として、各クラブの問題を研究し、また、強制でなく有益な助言を与えることによって各クラブの運営方法の標準化を図り、社会奉仕活動についても、既に広く多くのクラブによってその価値が実証されており、RI定款に掲げられているロータリーの綱領の趣旨にかない、これを乱すような恐れのない社会奉仕活動によってのみ、その標準化を図ること。

4）奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリー・クラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。そこで、ロータリー・クラブの団体的行動は次のような条件の下に行うように勧められている。いずれのロータリー・クラブも、毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それもなるべく毎年度異なっていて、できればその会計年度内に完了できるようなものを、後援することが望ましい。この奉仕活動は、地域社会が本当に必要としているものに基づいたものであり、かつ、クラブ会員の一致した協力を必要とするものでなければならない。これは、クラブ会員の地域社会における個々の奉仕を奨励するためにクラブが継続的に実施しているプログラムとは別に行われるべきものとする。

5）各ロータリー・クラブは、クラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶことについて絶対的な権利をもっている。しかし、いかなるクラブも、ロータリーの綱領を無視したり、ロータリー・クラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。そしてRIは、一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する有益な示唆を与えることはあっても、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないものとする。

6）個々のロータリー・クラブの社会奉仕活動の選択を律する規定は別に設けられていないが、これに関する指針として以下の準則が推奨されている。

a）ロータリーの会員の数には限りがあるので、ロータリー・クラブは、市民全体の積極的な支持なくしては成功しえないような広範囲の社会奉仕活動は、他に地域社会全体のために発言し、行動する適切な市民団体などの存在しない土地の場合に限り、これを行うこととすべきであり、商工会議所のある土地では、ロータリー・クラブはその仕事の邪魔をしたり、横取りをしたりすることのないようにしなければならない。しかし、ロータリアンとしては、奉仕を誓い、その理念の教えを受けた個人として、その土地の商工会議所の会員となって活動すべきであり、また、その土地の市民として、他の善良な市民と一緒に、広くすべての社会奉仕活動に関与し、その能力の許す限り、金銭や仕事の上でその分を果たすべきである。

b）一般的に言って、ロータリー・クラブは、どんな立派な事業であっても、クラブがその遂行に対する責任の全部または一部を負う用意と意思のない限り、その後援をしてはならない。

c）ロータリー・クラブが奉仕活動を選ぶ場合に宣伝をその主たる目標としてはならないが、ロータリーの影響力を拡大する一つの方法として、クラブが立派に遂行した有益な事業については正しい広報が行われるべきである。

d）ロータリー・クラブは、仕事の重複を避けるようにする必要があり、総じて、他に機関があり、それによって既に立派に行われている事業に乗り出すようなことをしてはならない。

e）ロータリー・クラブの奉仕活動は、なるべく現存の機関に協力する形で行うことが望ましいが、現存機関の設備や能力が目的の遂行に不十分である場合には、必要に応じ、新たに機関を設けることにしても差し支えない。ロータリー・クラブとしては、新たに重複した機関をつくるよりも、現存の機関を活用することのほうが望ましい。

f）ロータリー・クラブはそのすべての活動において、宣伝者として優れた働きをし、多大の成功を収めている。ロータリー・クラブは地域社会に存在する問題を見つけ出すことはしても、それがその地域社会全体の責任にかかわるものである場合には、単独でそれに手を下すようなことはしないで、他の人々にその解決の必要を悟らせる努力をし、地域社会全体にその責任を自覚させて、この仕事がロータリーだけの責任にならないで、本来その責任のある地域社会全体の仕事になるようにしている。また、ロータリーは、事業を始めたり、指導したりするが、一方、当然それに関心をもっていると考えられるほかのすべての団体の協力を得るように努力すべきであり、そして、当然ロータリー・クラブに帰すべき功績であっても、それに対する自分のほうの力を最小限度に評価して、そのすべてを協力者の手柄にするようにしなければならない。

g）クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかなっていると言える。それは、ロータリー・クラブでの社会奉仕活動は、ロータリー・クラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである（23-34、26-6、36-15、51-9、66-49）。

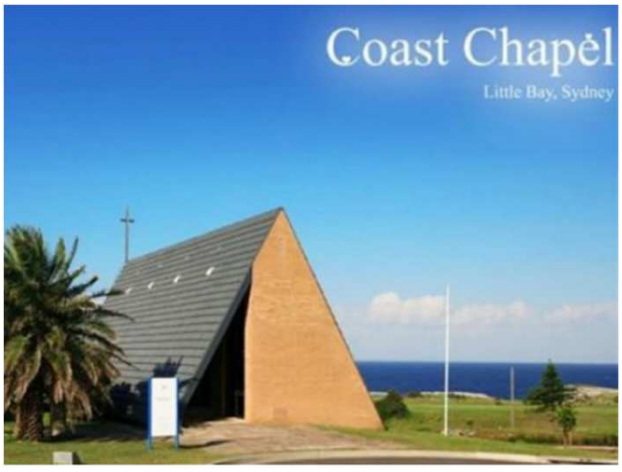
《 結婚式 招待状 》

拝　啓
新緑の青葉が繁れる季節を迎え 皆様におかれましてはご清祥の事とお慶び申し上げます
さてこの度 私達は晴れて結婚式を挙げ 新しい人生をスタートする事になりました
つきましては 日頃お世話になっている皆様の立会いのもとオーストラリア シドニーにて挙式を執り行いたいと思います
ご多用中誠に恐縮でございますが 是非ともご臨席賜りますようご案内申し上げます
尚　6月1日14：00国際大会開会式（①11：30－　②16：00－）の間に友愛の広場にて私どもの挙式前日祭を祝いたいと思います　可能な限りご参集ください
謹　白
２０１４年５月吉日

新郎　仲峯　豊（堺フェニックスRC）
新婦　濱田由美（堺フェニックスRC）

・日　　時
　２０１４年６月２日（月曜日）１２時より(現地時間)

・挙式会場
　コースト・チャペル・バイ・ザ・シー
　５０ Pine Avenue Little Bay, NSW ２０３８



・スケジュール
　12:00 挙式スタート
　12:30 チャペル庭にて写真撮影
　　移動
　13:45 シドニーハーバーで
　　オペラハウスをバックに写真撮影

　世界三大美港であるシドニー湾と世界遺産で名高いオペラハウスの前で写真撮影を行います　是非ともご参集下さい

会員の皆様へ

ぜひ、シドニーにお越し下さい。
国際大会を楽しみ、
仲峯会員、濱田会員を祝おうじゃないですか。